

2024 年 9 月 18 日

各 位

会 社 名 ライフネット生命保険株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 亮 介
(証券コード: 7157 東証グロース市場)

ライフネット生命保険 新しい医療保険発売のお知らせ

10 月に保険期間が 10 年から選べる定期型の医療保険 「じぶんへの保険 Z(ゼット)」を発売予定

ライフネット生命保険株式会社 (URL: <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>) 本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 森亮介) は、定期医療保険「じぶんへの保険 Z(ゼット)」、定期医療保険「じぶんへの保険 Z レディース」を 2024 年 10 月 1 日(予定)に発売することをお知らせします。

ライフネット生命は開業以来、日本は公的医療保険制度に代表されるような公的保障が充実した社会であることを前提として考え、入院や手術などの必要な保障に特化した医療保険「じぶんへの保険」シリーズを提供してきました。このたび、「安心して、未来世代を育てられる社会」の実現に向け、若い世代に選ばれ続ける保険を目指し、保険期間が 10 年、20 年、30 年を選択できる「定期型」の医療保険を開発し、「じぶんへの保険」シリーズのラインナップを強化します。



定期医療保険
じぶんへの保険 Z



定期医療保険
じぶんへの保険 Z レディース

■ライフプランが移り変わる若い世代を中心に、医療保険も「定期型」の活用を

NISA や iDeCo などの登場により、生命保険以外の方法で資産形成がしやすくなった今、改めて、保険の原点は「保障」であるということをライフネット生命は提言します。特に若い世代においては、ライフプランが変動しやすく収入が安定しにくいことを考えても、保険料が低廉な「定期型」で保障を確保することは合理的な選択肢の一つだといえるでしょう。

定期型は更新を迎えると保険料が高くなることをデメリットに捉えられがちですが、貯蓄が充分になってきた・資産形成にめどが立った・子育てがひと段落した、などの、**保険に頼る必要がなくなったタイミングで解約をしたり、保障を減らしたりすることで、保険料の負担は調整することができます。**実際に、ライフネット生命のご契約者さまは、「子どもが社会人になるため解約する」、「いざという備えが自力でできるようになったため解約する」という保険の使い方を実践しています^{※1}。

つまり、保険は人生の変化や保障の必要性にあわせて定期的に見直すものであり、**家族の風景が 10 年経てば大きく変わるように、10 年を一区切りとして保障の持ち方をアップデートすることが大切です。**

定期医療保険「じぶんへの保険 Z」「じぶんへの保険 Z レディース」は、保険期間を 10 年単位で設定できるだけでなく、終身医療保険「じぶんへの保険 3」の特長を引き継いでいます。短期入院に手厚く、保険料の安さを重視する方のためのエコノミーコース、がんや先進医療の保障が欲しい方に向けたおすすりめコースの 2 つから選べるわかりやすさはそのままに、加入時の保険料が抑えられる定期医療保険です。

■定期医療保険「じぶんへの保険 Z」「じぶんへの保険 Z レディース」の特長

(商品概要は 6 ページの「参考資料」をご覧ください)

1. 定期型のため、加入時の保険料が安い

保険期間が 10 年、20 年、30 年と一定期間である「定期型」は、その加入時の保険料は終身型の保険よりも安くなります

2. 保険期間が 10 年単位で設定できる

定期的に保険を見直しやすい 10 年単位で保険期間を設定することができます。10 年、20 年、30 年からお選びいただけます

3. 短期入院に手厚く、ニーズにあわせてコースを選ぶわかりやすさ

日帰り入院含む 5 日以内の入院でも一律 5 日分の入院給付金を受け取ることができ、各保障の組み合わせは、ニーズにあわせて 2 つのコースからお選びいただけます

なお、この保険は**終身医療保険への移行が可能**です。保険期間を更新する際は、その時の健康状態にかかわらず、保障が一生続く終身医療保険に切り替えることができます。

■月額保険料

定期医療保険「じぶんへの保険 Z」の代表的な月額保険料は以下のとおりです。

保障内容: エコミーコース 入院給付金日額 5,000 円/保険期間・保険料払込期間 10 年

性別	契約年齢	月額保険料
男性	20 歳	610 円
	30 歳	765 円
	40 歳	1,097 円
	50 歳	1,811 円
女性	20 歳	865 円
	30 歳	1,275 円
	40 歳	1,308 円
	50 歳	1,647 円

当社は、お客さまがお支払いする保険料のうち、生命保険会社の人件費や店舗等にかかる費用にあたる付加保険料を開示しています。一例として、契約年齢 30 歳における純保険料と付加保険料の内訳は以下のとおりです。

保障内容: エコミーコース 入院給付金日額 5,000 円/保険期間・保険料払込期間 10 年

性別	契約年齢	内訳	
男性	30 歳	月額保険料	765 円
		純保険料	465 円
		付加保険料	300 円
女性	30 歳	月額保険料	1,275 円
		純保険料	834 円
		付加保険料	441 円

なお、他保険商品における保険料の内訳(代表例)は、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.lifenet-seimei.co.jp/about/>

■日本人は保険に入りすぎている、「保険依存」の状態

ライフネット生命は、「ライフネットの生命保険マニフェスト」を基本の考え方としており、保険商品の開発時に大事とするポイントを3つ掲げています。

第3章 生命保険料を、安くする

1. 私たちは、保障内容を過剰にしない。必要な備えを、適正な生命保険料で提案する。
2. 私たちは、よい商品を安く提供するための工夫を怠らない。
3. 私たちは、生命保険料を抑え、その分をお客さまの人生の楽しみに使ってほしいと考える。

このように、ライフネット生命が保障内容を過剰にしないことや、生命保険料を抑えることを重視している理由は、日本人は公的医療保険制度に代表されるような公的保障が充実した社会に生きながらも、「保険依存」にあると考えるからです。

生命保険の世帯加入率^{*2}は全体で89.8%、30～34歳においては90%を超えています。そのうえ、世帯年間払込保険料は全体で平均37.1万円にのぼり、30～34歳においても平均26.2万円、つまり、30代前半でも月々約21,833円を保険料として支払っている状況です。保険料の負担は世帯年収において6.7%を占め、負担は小さいとはいえません。手取り収入で考えると、さらに大きな支出であることが想像できます。

生命保険文化センター 2021(令和3)年度「生命保険に関する全国実態調査」より

- 生命保険・個人年金保険の世帯加入率(全生保)(世帯主年齢別)
- 世帯年間払込保険料対世帯年収比率
- 世帯年間払込保険料(全生保)(世帯主年齢別)

生命保険・個人年金保険の世帯加入率
(全生保)(世帯主年齢別)

	2015 (平成27)年	2018 (平成30)年	2021 (令和3)年
全体	89.2	88.7	89.8
29歳以下	77.5	79.2	70.2
30～34歳	86.7	86.7	90.7
35～39歳	93.3	88.7	89.4
40～44歳	91.4	92.4	93.2
45～49歳	95.2	93.3	94.0
50～54歳	92.8	93.5	93.0
55～59歳	96.1	94.1	94.8
60～64歳	91.2	92.1	92.4
65～69歳	91.2	89.5	93.8
70～74歳	89.0	88.4	88.2
75～79歳	79.9	82.3	85.0
80～84歳	71.1	76.9	80.2
85～89歳	68.4	69.5	67.5
90歳以上	52.2	71.4	52.2

*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

*90歳以上はサンプルが30未満

世帯年間払込保険料対世帯年収比率
(%)

	全生保	民保
2021 (令和3)年	6.7	6.4
2018 (平成30)年	7.2	6.7
2015 (平成27)年	7.4	7.0
2012 (平成24)年	8.0	6.9
2009 (平成21)年	8.7	7.1

*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、
県民共済・生協等を含む

2021(令和3)年 世帯年間払込保険料(全生保)(世帯主年齢別)

全体	29歳以下	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
37.1	21.5	26.2	38.2	34.8	37.5	43.2	43.6	38.4	43.6	33.7	31.4	28.6	35.8	25.6

(万円)

*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む *90歳以上はサンプルが30未満

■保険のことがわからないと思っているから、人を介して生命保険に加入する

一方、保険に関する知識の自己評価について、70.8%の人が「詳しくない」と回答しています※3。20代男性の79.1%、女性の85.2%、30代男性の69.8%、女性の77.9%が保険に関して「詳しくない」という自己評価でした。「詳しくない」という認識にもかかわらず、多くの人が生命保険に加入している実態がうかがえます。また、「加入方法に対する意向(対面・非対面)」では、59%が「対面」を望んでおり、自身で保険商品の選定や手続きを行うことが前提となる通信販売を加入意向のあるチャネルとして選んだ人は17.7%にとどまっています。

生命保険文化センター 2022(令和4)年度「生活保障に関する調査」より

●保険に関する知識の自己評価

保険に関しての知識の自己評価をみると、「詳しい」8.9%、「詳しくない」は70.8%となっている。

●加入方法に対する意向(対面・非対面)

「自宅や職場、窓口で営業担当者に直接会って加入したい」が59.0%と最も多く、次いで「インターネットやメール等を用い、営業担当者と直接会わずに加入したい」(20.2%)となっている。

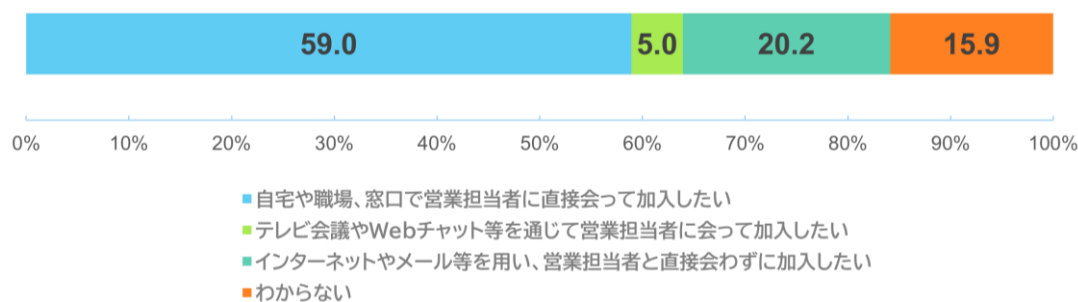
●最も加入意向のあるチャネル

保険に関する知識の自己評価



加入方法に対する意向(対面・非対面)

*集計対象は18～79歳



2022(令和4)年 最も加入意向のあるチャネル

*集計対象は18～79歳 (%)

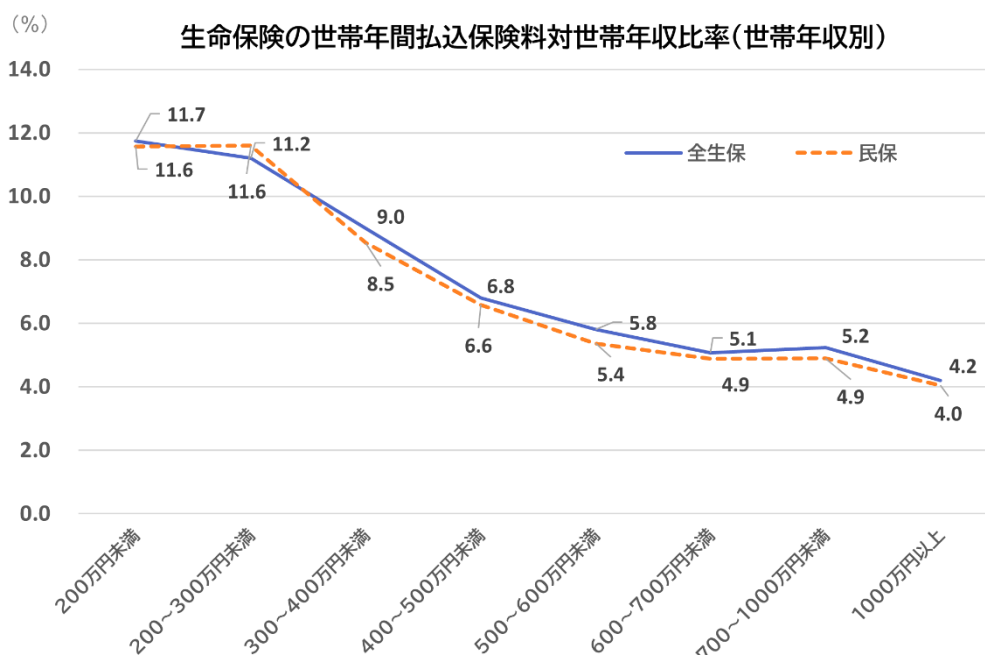
						*集計対象は18〜29歳 (%)														
営業職員	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	通信販売	インターネットを通して	テレビ・新聞・雑誌などを通して	民保・JAの窓口	郵便局の窓口や郵便局員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して					証券会社の窓口や営業職員	営業代理店の窓口や営業職員	保険代理店の窓口	保険代理店の営業職員	勤め先や労働組合等を通して	その他	わからない
									銀行員(ゆうちょを含む)	都市銀行の窓口や銀行員	地方銀行・信用金庫・信用組合の窓口や銀行員	信託銀行の窓口や銀行員								
35.8	27.8	8.0	17.7	15.8	1.9	13.9	6.2	4.4	3.9	1.7	2.1	0.2	0.5	14.0	8.5	5.5	5.8	1.7	0.4	

つまり、日本の現状は、保険のことがわからないため人を介して生命保険に加入し、年間で平均して37.1万円の保険料を払っている、とまとめることができるでしょう。保険料が家計に与えるインパクトは年収が少ないほど大きく、年収300万円未満の世帯においては、年間払込保険料は年収の11%以上にもおよび※4、加えて、社会保険料を納めているわけですから、日本人が「保険依存」にあり、「保険に入りすぎている」というのも極論ではないといえるのではないのでしょうか。

生命保険文化センター 2021(令和3)年度「生命保険に関する全国実態調査」より

●生命保険の世帯年間払込保険料対世帯年収比率(世帯年収別)

世帯年収別にみると、全生保、民保ともに「300万円未満」の層では1割を超えている。



*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

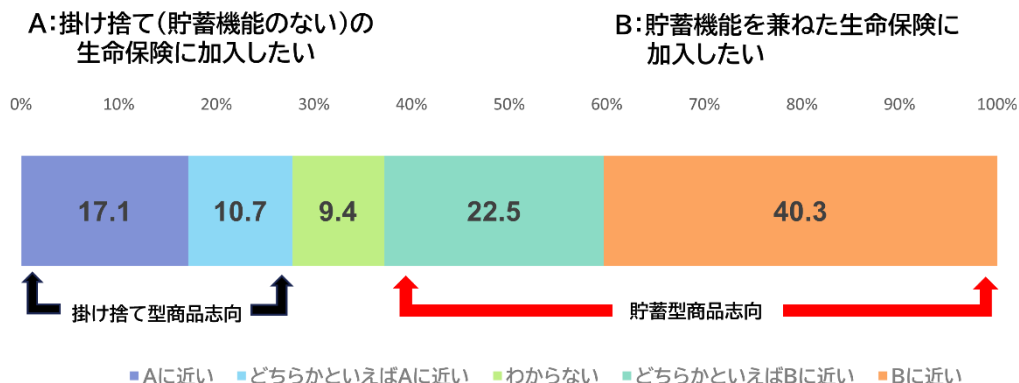
■保険とお金を増やすことは分けて考えることを、当たり前にしたい

貯蓄機能のある保険に加入するという選択は、掛け捨てと呼ばれる保険料が安い保障性の保険に加入することよりも好まれているようです※5。6割の人が「貯蓄型商品志向」と回答しています。しかし、実際は、生命保険の「予定利率」は長らく低い状態にあり、いわゆる「超低金利時代」であることを考えても、お金を増やすことを目的として保険に加入する選択は必ずしも本来の目的と合っているとはいえないかもしれません。

生命保険文化センター 2022(令和4)年度「生活保障に関する調査」より
 ●掛け捨て型商品志向か貯蓄型商品志向か

掛け捨て型商品志向か貯蓄型商品志向か

*集計対象は18～79歳



ライフネット生命は開業以来、保障性に特化した保険商品のみを提供しており、保険料を抑え、その分、世の中にある優れた金融商品を自分で選択してお金を増やしていくことを推奨してきました。保障は保険で、貯蓄・資産形成は自分で、というやり方が今後はより当たり前になっていくよう、今この世の中に必要なのはネットで入ることのできる定期型で掛け捨ての保険であると確信しています。

保険商品の中では主流ではない保障に特化した定期型の保険ですが、保険のあるべき形であり、現代の若い世代に向けて使い勝手の優れたものとして、新たなスタンダードになるよう、今後も積極的な情報発信をして認知を上げていきたいと思っています。

※1 ライフネット生命解約時アンケートより

※2、※4 (公財)生命保険文化センター 2021(令和3)年度「生命保険に関する全国実態調査」(2021年12月発行)より

※3、※5 (公財)生命保険文化センター 2022(令和4)年度「生活保障に関する調査」(2023年3月発行)より

■参考資料: 定期医療保険「じぶんへの保険 Z」「じぶんへの保険 Z レディース」の概要

項目	内容
契約年齢	18歳～70歳
保険期間・保険料払込期間	10年・20年・30年(90歳まで自動更新) ※年齢によって選択できる保険期間が異なります。 ※更新時には更新時の年齢、保険料率によって保険料が再計算されるので、多くの場合、保険料は更新前よりも高くなります。
入院給付金日額	5,000円・8,000円・10,000円・12,000円・15,000円
終身医療保険への移行	保険期間満了日の2ヶ月前までのお申し出で、その時の健康状態にかかわらず、当社所定の範囲内で終身医療保険に移行することができます。 ※終身医療保険への移行をお取り扱いできない場合があります。詳細は「ご契約のしおり」と「約款」をご確認ください。

■各給付金について

	支払事由	給付金額
入院給付金	病気またはケガの治療を目的として病院または診療所に入院したときにお支払いします。	入院給付金日額 × 入院日数(*1) ※1 回の入院について 60 日、保険期間(更新契約の保険期間も含む)を通じて 1,095 日まで(*2)
手術給付金	病院または診療所で所定の手術を受けたときにお支払いします。	入院中(入院を伴う場合) 入院給付金日額 × 10 外来(入院を伴わない場合) 入院給付金日額 × 5 骨髄幹細胞の採取術 入院給付金日額 × 10
女性入院給付金(*3)	所定の女性特定疾病の治療を目的として病院または診療所に入院したときにお支払いします。	入院給付金日額 × 入院日数(*1) ※1 回の入院について 60 日、保険期間(更新契約の保険期間も含む)を通じて 1,095 日まで
がん治療給付金(おすすりコースのみ)	責任開始日から 90 日より後に、生まれてはじめてがんと診断されたとき、また、診断から 1 年を経過して所定のがん治療を受けたときにお支払いします。	入院給付金日額 × 100(*4)
先進医療給付金(おすすりコースのみ)	所定の先進医療を受けたときにお支払いします。	先進医療の技術料と同額(*5)
先進医療見舞給付金(おすすりコースのみ)	先進医療給付金支払われるときにお支払いします。	療養 1 回につき、10 万円

*1 日帰り入院を含む 5 日以内の入院のときは、入院給付金日額の 5 日分をお支払い

*2 おすすりコースの場合、所定の 3 大生活習慣病の治療を目的として入院した場合、支払限度日数が無制限

*3 「じぶんへの保険 Z レディース」のみ

*4 1 年に 1 回を限度に保険期間(更新契約の保険期間を含む)を通じて最大 5 回までお支払い

*5 保険期間(更新契約の保険期間を含む)を通じて 2,000 万円まで

※こちらに記載されている内容は、保障内容の概要です。詳細は、販売開始後にウェブサイトに掲載します。

ライフネット生命について URL: <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>

ライフネット生命は「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスを提供することで、お客さま一人ひとりの生き方を応援する」という経営理念を、「ライフネットの生命保険マニフェスト」にまとめ、営業開始から一貫してお客さま視点に立った生命保険をお届けしています。オンライン生保のリーディングカンパニーとして、デジタルテクノロジーを活用しながら、「安心して、未来世代を育てられる社会」の実現を目指します。

会社及び商品の詳細は <https://www.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。
株主・投資家向けの情報は <https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先
広報／IR 03-5216-7900